

マイマイガの幼虫の防除について

町内では、昨年マイマイガが大量発生し、今年も発生が予想されます。

マイマイガは4～5月に幼虫となり、1～2か月かけて羽化し成虫となり、街灯などに飛来します。

幼虫期には果樹、稲の葉、草花などを食べ食害を及ぼします。

被害を抑えるため、卵塊の除去やふ化幼虫の駆除などにご協力をお願いいたします。



(写真：(一社)岐阜県ベストコントロール協会)

【ふ化幼虫（体長1cm程度までの幼虫）対策】

幼虫は卵塊上に集団でいます（淡茶色～黒色）

高いところに登り糸を吐いてぶら下がり、風で飛びます。

○対策方法

直接取り除く方法

- ・ガムテープに貼り付けて取り除く

幼虫が卵塊の上にまとまっているときに貼り付けて取り除きます。幼虫が皮膚に直接触れないよう注意して行ってください。

薬剤による防除

- ・家庭用殺虫剤による防除（壁などの建造物）

家庭用のガ類用の殺虫剤により防除します。壁などの建造物に付いている幼虫に使用します。壁などを変色させるおそれがあるためあらかじめ確かめてください。

植物に付着している幼虫や成虫には使用しないでください。

スプレー剤などで幼虫が飛ばされて、皮膚に触れないよう注意して行ってください。

通行人や周辺の住民に十分配慮し、周囲に飛散しないよう注意して行ってください。

- ・農薬による防除（樹木などの植物）

農薬は樹木などの植物を防除する場合に使用します。建物には使用できません。

農薬が散布しようとしている樹木に使える薬剤かどうか確かめてください。

事前に周知するなどして周辺に配慮し、周囲に飛散しないよう十分注意して行ってください。

マイマイガに使ってもよい薬剤かどうか確かめてください。

成長した幼虫（体長1cm以上）には効き目が弱くなります。

その他、農薬のラベルに記載されている注意事項をよく読んで使用してください。

※死んだ幼虫についても、肌に触れると皮膚炎を引き起こすことがあるので肌の露出を避けて行ってください。（孵化したばかりの幼虫（1齢幼虫）には微量ですが毒があります）

【大きくなった幼虫対策】

大きくなった幼虫には、殺虫剤が効きにくくなるので、ビニール手袋や火鉢などで直接捕まえ、少量の家庭用洗剤を溶かした水に入れ駆除してください。2齢幼虫から毒はありませんが、体毛が刺さらないよう注意して行ってください。



専門業者に依頼される場合は電話帳などでお調べして直接依頼してください。

連絡先 会津坂下町役場 生活課 戸籍環境班 84-1500